

# 第65回 光波センシング技術研究会講演会 論文募集案内

主催 協賛 応用物理学会・光波センシング技術研究会  
電子情報通信学会 通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ、電気学会、  
情報処理学会、精密工学会、映像情報メディア学会、応用物理学会 フォトニクス分科会、  
日本光学会、計測自動制御学会、日本分光学会、日本オプトメカトロニクス協会、  
光ファイバセンシング振興協会、IEEE Oceanic Engineering Society Japan Chapter、  
IEEE Photonics Society Tokyo Section Chapter

応募締切 2021年4月19日(月)【必着】  
開催日 2021年7月13日(火)～14日(水)  
オンライン開催

## 趣旨と内容

### 「光波センシングと AI・機械学習」

本研究会は1988年に応用物理学会の研究会として発足し、光波センシングの基礎、応用、実用化を軸に、光技術の発展のため活躍して参りました。第65回研究会では光波センシングと AI・機械学習をテーマに取り上げます。

AI・機械学習は目覚ましい発展を遂げています。将棋用 AI がプロ棋士に勝利するなどの事象に端を発した昨今の AI ブームは、手軽に試すことが可能な環境が整備されたことと、試せば何らかの結果が得られ、それが論理的な解法よりも優れている場合も少なくないことなどから爆発的な発展となり、特に顔認証、手書文字認識などの画像認識の領域で盛んに利用されるようになっていきます。さらに、分光計測などの複雑な計測データの解析等へも応用されつつあります。本企画では AI 利用光計測の最新事例紹介に加え、AI の実装方法などに関する招待講演等を基に、AI 利用光計測の可能性について議論します。

一般講演論文は、上記のテーマに関係する話題に限らず光技術の広い応用分野から募集いたしますので、奮ってご投稿くださいますようお願い申し上げます。

募集論文の性格：未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報等は差し支えございません。

講演形式・時間：オンライン開催、一般発表講演形式で質疑応答を含めて20分の予定。

応募方法：論文のアブストラクトを下記の事務局まで E-mail にてお送りください。  
アブストラクトは A4 版 1 頁 (PDF および MS WORD) 以内で、書式は自由です。  
演題、発表者、共著者、連絡先 (住所、TEL、FAX、E-mail) を明記願います。

応募締切：2021年4月19日(月)【必着】

論文審査：アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切：2021年6月14日(月)【必着】  
A4 版 6～8 頁の PDF および MS WORD の原稿を共に E-mail にてお送りください。

参加費：一般 10,000 円 (予約割引料金, 税込) 論文集のダウンロード権を含みます。  
学生 3,000 円 (発表者)  
※ 学生の聴講のみは無料、ただし事前登録は必要です。

問合せ/送付先：光波センシング技術研究会(LST)  
事務局・委員長 田中 哲  
防衛大学校電気情報学群通信工学科  
〒239-8686 神奈川県横須賀市走水 1-10-20  
TEL: 046-841-3810 内線 3368 (追加ダイヤルイン)  
FAX: 046-844-5911 (9:00-17:00)  
Email: st\_nda@ybb.ne.jp

★ 講演論文集のバックナンバー(第51回～64回)を6,000円、第1回～50回の講演論文を収録したDVDを7,000円で頒布しています。上記までご連絡ください。(論文集別途消費税)がかかります。